

# DPCデータに基づく病院情報

## 定義・用語説明

### 1. 年齢階級別退院患者数

#### 定義

- 集計期間内に退院された患者さんの人数を、10歳刻みの年齢階級別に集計していません。
- 年齢は入院日の満年齢となります。

### 2. 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

各診療科別に患者数の多いDPC14桁分類について、「DPCコード」「DPC名称」「患者数」「平均在院日数(自院)」「平均在院日数(全国)」「転院率」「平均年齢」「患者用パス」を示したものです。

※診断群分類の名称およびDPCコードと診療科の名称が合致しない場合があります。

#### 定義

- 最終的な自院の退院を持って1カウントとします。
- 転院は、最終的な退院先が「転院」の患者さんとします。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(－)で表記します。

#### 用語説明

##### 【DPCコード】

診断群分類を表すコードです。病気と治療の組み合わせによって分類されますので、同じ病気でも治療が異なればDPCコードも異なります。

##### 【DPC名称】

DPCコードが、どのような病気と治療で分類されているかを表します。

##### 【平均在院日数(自院)】

入院日数(在院日数)を症例ごとに集計し、その値を症例数で割った平均値です。

##### 【平均在院日数(全国)】

厚生労働省より公表されている、平成30年度における全国DPC対象病院での平均在院日数です。

### 【転院率】

該当する症例のうち、当院から他病院に移動して入院継続(転院)することとなった患者さんの割合です。

### 【平均年齢】

該当する症例での平均年齢となります。

### 【患者用パス】

入院時に患者さんにお渡しするスケジュール表です。

診療の効率化を図り、安全な医療を提供するため、治療や看護の手順を標準化し、検査・治療・手術・看護ケアなどの内容を時間軸に沿ってまとめたものです。

※総合診療科につきましては、上位5位までのすべての患者数が10未満の為、表示しておりません。

## 3. 初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数

---

### 定義

- 患者数は延患者数で集計しています。  
(延患者数: 1人の患者さんが集計期間に繰り返し入院した場合、その都度1とカウントした数です。)
- 医療資源を最も投入した傷病名に対する ICD10 コードが、胃癌の場合はC16 \$、大腸癌の場合はC18 \$・C19・C20、乳癌の場合はC50 \$、肺癌の場合はC34 \$、肝癌の場合はC22 \$における各患者数を集計しています。
- 初発例はUICCが定めたTNMから示される病期分類による患者数を集計しています。
- 再発例は集計期間内の患者数のみを集計しています。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(ー)で表記します。

### 用語説明

#### 【ICD-10】

世界保健機関(WHO)が作成した傷病に対する分類で、世界共通コードにて分類します。最新版が第10版のため ICD-10 と呼ばれます。

## 4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

---

成人の市中肺炎について、重症度別に「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」を集計しています。

### 定義

- 入院のきっかけとなった傷病名および最も医療資源を投入した傷病名が、肺炎(ICD-10コード:J13~J18\$)であるものに限定します。
- 重症度はA-DROPスコアを用いて分類しています。各因子に一つでも不明があった場合は「不明」と分類します。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(ー)で表記します。

## 用語説明

### 【市中肺炎】

日常生活の中で罹患した肺炎をいいます。

### 【A-DROPスコア】

市中肺炎の重症度分類で、下記項目の該当数で重症度を分類します。

A(Age=年齢): 男性70歳以上、女性75歳以上

D(Dehydration=脱水): BUN(尿素窒素)21mg/dL以上または脱水あり

R(Respiration=呼吸): SpO<sub>2</sub>(酸素飽和度)90%以下(PaO<sub>2</sub>[動脈血酸素分圧]60Torr以下)

O(Orientation=意識障害): 意識障害あり

P(Pressure=血圧): 収縮期血圧90mmHg以下

## 5. 脳梗塞の ICD10 別患者数等

---

脳梗塞の病型別の「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」「転院率」を集計しています。

### 定義

- 最も医療資源を投入した傷病名が、脳梗塞のものを ICD-10 コード別に集計しています。
- 転院は、様式1の退院先が「4.他の病院・診療所への転院」とし、「転院患者数/全退院数」を転院率とします。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(ー)で表記します。

## 6. 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

---

各診療科別に手術件数の多い上位5術式について、「患者数」「術前日数」「術後日数」「平均年齢」「患者用パス」を示したものです。

### 定義

- 手術術式のKコードによる集計です。
- 一連の入院において複数回の手術を実施した場合は、主たる手術のみ集計しています。
- 輸血関連および創傷処理等の軽微な手術は除外しています。

- 術前日数は入院日から手術日(手術日当日は含まない)までの日数、術後日数は手術日(手術日当日は含まない)から最終的な退院日までとしています。
- 転院は、退院先が「4. 他の病院・診療所への転院」とし、転院患者数／全退院数を転院率とします。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(－)で表記します。

## 用語説明

### 【Kコード】

医科点数表で定められた手術に対する点数表コードです。接頭がKで始まります。

※内分泌代謝科、神経内科、皮膚科、呼吸器内科、血液内科、総合診療科、緩和医療科につきましては、上位5位までのすべての患者数が10未満の為、表示しておりません。

## 7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

---

### 定義

- 最も医療資源を投入した傷病名がDIC:播種性血管内凝固症候群(DPC:130100)、敗血症(DPC:180010)、その他の真菌症(DPC:180035)、手術・術後の合併症(DPC:180040)について、入院契機となった病名との同一性の有無を区別して症例数と発生率を集計しています。
- 患者数が10未満の症例については、各数値を(－)で表記します。

### 用語説明

#### 【播種性血管内凝固症候群(DIC)】

感染症などが原因で、全身の至るところの血管内で血液を固める機能が強くなってしまう状態です。また、血液凝固に必要な血小板や血漿などを消耗してしまい、止血機能が失われるため様々な臓器で出血しやすくなる非常に重篤な病態です。

#### 【敗血症】

感染を起こしている箇所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病態です。

#### 【真菌症】

真菌(カビなど)による感染症です。

#### 【手術・術後の合併症】

手術や術後などに一定割合で発生してしまう病態です。創部感染や術後出血などがあげられます。合併症はどのような術式でもどのような患者さんでも一定の確率で起こりうるもので、医療ミスとは異なります。

### 【入院契機】

DPCコードにて分類され対象となる病気（最も医療資源を投入した傷病名）とは別に、入院のきっかけとなった病名（入院契機病名）がそれぞれの患者さんにつけられています。最も医療資源を投入した傷病名と入院契機病名が「同一」か「異なる」かに分けて集計しています。

「同一」は、ある病気の診療目的で入院し、その病気の治療を行ったことを表します。

「異なる」は、ある病気の診療目的で入院したが、別の病気をもともと持っていた、もしくは入院中に違う病気が発症したことにより、その治療が主となってしまった場合を表します。

### 【発生率】

全退院患者さんのうち、該当するDPC（最も医療資源を投入した傷病名）症例数の割合です。